

広次 忠彦 通信

No. 179

2010年4月5日

日本共産党大分市議団

許せません
市長答弁

子ども医療費の無料拡大 「安易な受診につながる」と



各地に広がる

医療費無料の拡充

子育て世代の願いは、安心して子どもを産み育てられる環境づくりです。県内では姫島村、玖珠、九重町、豊後大野市は中学校卒業まで無料化を実施、佐伯市は小学校3年生までの無料化が具体的にすすめられていきます。県も、乳幼児医療費助成のうち、入院助成の対象を、就学前から一気に中学3年生まで拡

大することを決めました。

許せません！ 市長発言

市長は、「多大な財政負担をとまなうことや、安易な受診を招く恐れもあり、小児救急医療体制の安定した継続の妨げになることも懸念されるから、慎重な判断が必要」と答弁しました。

「うちにも子どもがいるが、市長の発言は許せません。本当に（安易な受診が）あると思っているのか」と、議会終了後に、怒りの声が寄せられました。

安定した医療体制も、お医者さんを増やす努力こそ必要です。

無料拡充の声を大きく

増税や社会保障切り捨て、雇用不安、所得の減少などが、子育て世帯を直撃しています。小学校卒業までの医療費完全無料化は、子育て支援に大きく寄与することはあきらみません。医療費無料の拡大をさせましょう。

敷戸新町から鴛野小への通学路改修される



敷戸新町から鴛野小学校への通学路の改修がおこなわれました。路肩が崩れ、車も脱輪するなど、危険な場所でした。「子どもが事故にあわないか心配。いろいろと頼んだが実現しなかった。地元の方の要望が寄せられました。市担当者との協議、学校関係者も要望を出すなど、みなさんといっしょに実現することができました。「これで少し安心」と、喜ばれています。

トピックス

2月15日 4年ぶりに、

日出生台での米海兵隊の演習がおこなわれました。「米軍の運用上の都合」で、2回も中止になった後の演習です。今回の演習では、機関銃などの小火器の訓練、発煙弾（白リン弾）を初めて使用するなど、演習の拡大が目にあまりました。



米軍普天間基地問題で、佐世保や佐賀に飛行場を持つてきて、日出生台で演習するという案までありませぬ。とんでもありません。米軍基地は撤去以外にありません。力をあわせましょう。

市議会で見解書採択

3月議会、広次市議が紹介議員となった『普天間基地の日出生台演習場への移転に反対する意見書』が採択され、総理大臣などへ送られました。